

地方だより

本欄はJARLの各地方、各支部の行事案内やその結果などを掲載するページです。
次号「春号」の原稿締切りは2月20日です。支部大会案内やコンテスト結果、
そのほか各種催し物など重要事項はお早目に地方だより係まで送稿してください。

各地の行事予定

表中の●印はコンテストです。

1月

- 2日 ●秋田県 第30回VUオール秋田QSOパーティー
●十勝 十勝支部QSOパーティー(～3日)
●胆振日高 第13回胆振日高ニューイヤ-2mコンテスト(～3日)
- 4日 ●兵庫県 オール兵庫コンテスト
- 9日 鹿児島県 桜島火山爆発総合防災訓練
●富山県 第44回富山県非常無線通信訓練コンテスト
- 10日 福岡県 賀詞交歓会
●熊本県 2021オール熊本コンテスト
石狩後志 さっぽろ雪まつりPR記念局運用(～2月11日)
- 11日 ●埼玉県 第39回オール埼玉コンテスト
- 16日 大分県 役員会・新春おおいたハム寺子屋/
新春アイボールパーティー
●宮城県 第42回オール宮城コンテスト(～17日)
新潟県 クラブ代表者会/新年会
長野県 国宝松本城氷彫フェスティバル2021記念運用(～24日)
- 17日 ●神奈川県 第1回神奈川ニューイヤ-QRVデー
- 23日 鹿児島県 科学の祭典in日置市大会
長野県 第2回登録クラブ代表者会議
- 24日 岡山県 電子工作教室 ライフパーク倉敷
山口県 2020年度第1回おいでませ山口コンテスト
- 31日 ●鳥取県 2021年鳥取OSO訓練コンテスト

2月

- 1日 ●愛媛県 第47回愛媛マラソンコンテスト(～10日)
●富山県 富山マラソンコンテスト&パーティ(～11日)
- 6日 ●京都府 第65回京都コンテスト(～7日)
- 7日 埼玉県 役員・監査指導委員会
三重県 技術講習会
- 11日 ●関東地方 第38回関東UHFコンテスト
愛知県 アマチュア無線なんでも相談会
- 13日 石狩後志 登録クラブ代表者会議(後期)
- 14日 神奈川県 技術講習会

- 千葉県 ちばハムの集い2021
京都府 第35回初級CW QSO教室
21日 群馬県 技術講習会
山梨県 技術講習会
大阪府 技術講習会
和歌山県 支部大会・ハム集い
●島根県 2020島根県OSO通信訓練コンテスト
大分県 ラジオ工作教室
富山県 ハムセミナー/支部登録クラブ代表者会議
- 27日 ●広島県 第29回広島WASコンテスト(～28)
- 28日 東京都 秋葉原イベント「第14回秋コレ」出展
沖縄県 支部大会(ハムの集い)

3月

- 1日 ●徳島県 徳島マラソンコンテスト(A3)(～10日)
- 6日 神奈川県 支部役員・監査指導委員・クラブ代表者合同会議
- 7日 宮城県 第30回アマチュア無線なんでも相談室
オホーツク 代表者役員会議
渡島檜山 非常通信伝達訓練
- 13日 ●長野県 2021年ALL JA0 3.5MHz/7MHzコンテスト(～14日)
- 14日 奈良県 支部大会・ハムの集い
●中国地方 第2回オールJA4コンテスト
徳島県 研修会
- 20日 ●東海地方 第61回東海QSOコンテスト
- 21日 大分県 支部役員会・おおいたハム寺子屋
- 28日 鹿児島県 合同役員会

4月

- 3日 ●神奈川県 第39回非常通信訓練コンテスト
●長崎県 2021年長崎県コンテスト(～4日)
- 4日 ●和歌山県 第33回和歌山コンテスト
- 10日 ●信越地方 第68回信越アマチュア局非常通信コンテスト(～11日)
- 17日 ●東北地方 第70回オール東北コンテスト(～18日)
- 18日 東京都 ハムらde無線フェア
長崎県 登録クラブ代表者・支部役員・監査指導委員合同会議

お読み 本号では令和3年1月1日以降の情報として各地の行事をご紹介しますので、地方本部・支部の情報やJARL Web「トピックス(今後のイベント開催について)」の情報などをあわせてご確認くださいませ。お願いします。
▶JARL Web: <http://www.jarl.or.jp/>

第38回関東UHFコンテスト

日時 2月11日(木/祝日) 09:00~15:00

参加資格 関東エリア内の個人アマチュア局(社団局を除く)・SWL ※関東エリア内を移動する他エリアのコールサインの局も含む

使用周波数 430/1200/2400/5600MHz帯, 10GHz帯 ※JARL主催コンテスト使用周波数帯, 総務省告示による使用区別を使用 ※電信電話ではD-STARのシンプレックスモード(レピータを使用しない)も使用可能

参加部門・種目・コードナンバー ※各部門・種目ともシングルオペのみ ※ヤング部門は「電信」「電信電話」「シングルバンド」「マルチバンド」の区別はおこなわず令和3(2021)年4月1日現在の満年齢が18歳以下の者が参加できる ※「電信電話」は「電信および電話」または「電話」の交信 ※ヤング部門以外のマルチバンドの参加は2波以上での交信をし、ログを提出 ※「SWL」は「電信」「電信電話」の区別をしない

参加部門	種目	コードナンバー	
シングルオペ	ヤング※	YM	
	電信	マルチバンド	AM
		430MHz	A430
		1200MHz	A1200
		2400MHz	A2400
		5600MHz	A5600
	電信電話	マルチバンド	BM
		430MHz	B430
		1200MHz	B1200
		2400MHz	B2400
		5600MHz	B5600
	10GHz	B10G	
	SWL	C	

呼出 ○電信「CQ KNT TEST」 ○電話「CQ カントウコンテスト」

コンテストナンバー RS/T + JARL制定の市郡区ナンバー 例1) 相手局のRSが59で自局の運用場所が豊島区: 59 100116 例2) 相手局のRSTが579で自局の運用場所が群馬県吾妻郡: 57916001

禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○レピータによる呼出・交信 ○呼出周波数における呼出・交信 ○マルチオペ、ゲストオペでの参加はできない

失格事項 ○重複交信が2%を超えて得点としている場合 ○書類に明らかな虚偽の記載が認められた場合

得点・マルチプライヤー ○アマチュア局: 得点は完全な交信で得た交信を1点, マルチは各バンドで交信した異なる市郡区の数 ○SWL: 得点は完全な受信した異なる市郡区の数(完全な受信とは, 受信局, 受信局の交信相手のコールサイン, 受信局の送信したコンテストナンバーをコピーすることとし, 受信局の交信相手のコールサインはログの送信ナンバー欄に記載 ※同一バンド内における同一相手局との重複交(受)信は, 電波型式, 運用地点が異なっても得点またはマルチにならない ※自局が運用(受信)地点を移動することは差し支えない

総得点 ○マルチバンド種目: 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチの和 ○シングルバンド種目: 当該バンドにおける得点×当該バンドで得たマルチ
提出書類 JARL制定のサマリーとログを, 参加部門・種目を通じて1種目のみに提出 ※運用(受信)地点を移動した場合は移動した地点の市郡区の町村名までを必ず記入

紙ログ・サマリーについて 紙によるログ・サマリーの提出は手書きのもののみを受付。紙によるログ・サマリーの提出の際には注意 ○ワード, エクセルなどを使い, 紙にきれいにプリントアウトしたものは受付できませんので, ご了承ください ○諸事情で紙に手書きでログを書くことしかできない方に対しては, 受け付けますが, それ以外はすべて電子ログで提出。まだ電子ログでログ提出をされていない方は, 電子ログ化の準備をお願いします

締切 3月11日(木) 消印有効(メールの場合は24:00必着)

提出先 〒175-0083 東京都板橋区徳丸6-8-23 新谷一徳 関東UHFコンテスト係

メール受付 JARL制定の所定の様式で作成したもの(JARL電子ログ作成ツール, ハムログ, Elogmakerで作成したものなど)メールの本文欄に貼付けて送信。

地方だより記事の掲載について

- コンテスト規約の中で, 電波法のように当然守らなければならない事柄のほか, 掲載している規約の違反による失格事項などについては, 省略しています。
- 各行事の開催報告などは編集の都合上, 割愛させていただいている場合があります。あらかじめご了承ください。

JARL主催コンテスト使用周波数帯

●各地方コンテストの使用周波数帯の参考として, ご利用ください。

周波数帯	電信
1.9 MHz帯	1.801 ~ 1.820
3.5 MHz帯	3.510 ~ 3.530
7 MHz帯	7.010 ~ 7.040
14 MHz帯	14.050 ~ 14.080
21 MHz帯	21.050 ~ 21.080
28 MHz帯	28.050 ~ 28.080
50 MHz帯	50.050 ~ 50.090
144 MHz帯	144.050 ~ 144.090
430 MHz帯	430.050 ~ 430.090

周波数帯	電話	
1.9 MHz帯	AM/SSB	1.850 ~ 1.875
3.5 MHz帯	AM/SSB	3.535 ~ 3.570
7 MHz帯	AM/SSB	7.060 ~ 7.140
14 MHz帯	AM/SSB	14.250 ~ 14.300
21 MHz帯	AM/SSB	21.350 ~ 21.450
28 MHz帯	AM/SSB	28.600 ~ 28.850
	FM	29.200 ~ 29.300
50 MHz帯	AM/SSB	50.350 ~ 51.000
	FM	51.000 ~ 52.000
144 MHz帯	AM/SSB	144.250 ~ 144.500
	FM	144.750 ~ 145.600
430 MHz帯	AM/SSB	430.250 ~ 430.700
	FM	432.100 ~ 434.000

※1200 MHz帯以上の周波数帯については総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」によるものとする。

※1.9MHz帯、50MHz帯のコンテスト周波数が改正されています。

メールの件名(主題・タイトル)は提出局のコールサイン 例)7K2GMJ ○移動して運用された局は、必ず/1と記載 例)7K2GMJ/1 ○上記以外のメールは、受け付けできませんので注意。受付済みの局は定期的に地方本部のHPに掲載、受付の返信メールはおこないません ○メールの送信先:kanto-uhf@jarl.com

賞 各部門・種目のサマリー・ログ提出局には、その局数に応じて次の順位のJARL会員局に賞状ならびに副賞の楯 10局以下:1位のみ, 11局~20局:2位まで, 21局~30局:3位まで, 31局以上:5位まで ※入賞局の得点と同じ場合は同順位。ヤング部門は上記にかかわらず、5位までのJARL会員局に賞状ならびに副賞の楯

結果発表 JARL Web 地方本部HPに6月頃掲載予定
その他 ○前記以外のルールは、原則としてJARLコンテスト規約に準じる

問合せ先 不明点などは 7k2gmj@jarl.com まで

東京都

秋葉原イベント「第14回秋コレ」出展

当支部では、「秋葉原の文化をコレクション!あなただけのオリジナルの秋葉原を見つけよう!!」のコンセプト「第14回秋コレ」イベントにアマチュア無線のPRと集いの場として出展準備をしています。前回は約5千人の来場があり、当日は電気、工作、アニメ、ホビー、鉄道、音楽、グルメ、アート。オールジャンルで活動されている個人等の展示・販売できる100のスペースで我々に身近な電子工作品やジャンク販売も出展予定です。

アマチュア無線特別局(体験局)8J1JARL/1の会場内運用も予定しておりますので秋葉原の会場でお会いしましょう。

新型コロナウイルスの感染症予防対策等により当日の内容に変更等があるかもしれませんので当支部HP等(<http://jarl-tokyo.org/wp2>)も確認ください。

日時 2月28日(日) 11:00~16:00(予定)

入場料 無料

場所 秋葉原UDX 2F アキバ・スクエア 東京都千代田区外神田4-14-1

JARL入会等受付 一般入会・青少年お試し入会(年齢確認書類のコピーを持参)・継続の受付

QSLカード転送受付 JARL会員証を持参

運営主催 HAMます委員会・(株)秋コレ

第2回ハムらde無線フェア

日時 4月18日(日)9:45開会式(予定) 10:00~16:00(展示は15時頃まで)

場所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

交通 JR青梅線羽村駅東口から徒歩約8分 ※施設周辺に有料駐車場あり

内容 誰でも参加可・無料、メーカーの無線機器展示や特別セミナー、各ジャンル別セミナー予定の他、JJ1ROE中村春香さん率いるバンド「Haruka with Cherry Spice」によるベンチャーズ曲や演歌曲をエレキギター特別演奏、ライセンスフリー等も一緒になって、電波でつながる遊びと学びの集い、クラブ紹介、アイボール情報交流会、不用品・不要中古品交換市

(12時頃まで)、ニューカマーやビギナー相談コーナー、特別局運用、地域の羽村市等紹介コーナー等含めた当支部共催の無線フェアを開催します

JARL入会等受付 一般入会・青少年お試し入会(年齢確認書類のコピーを持参)・継続の受付

QSLカード転送受付 JARL会員証を持参
新型コロナウイルスの感染症予防対策等により当日の内容に変更等があるかもしれませんので当フェアホームページ等(http://www.cqmart.com/hamura_fair/fair_top.html)も確認ください。

問合せ事務局 羽村アマチュア無線クラブ「ハムラーズ」
秋吉勝久 [Eメール] hamsfrnd@d4.dion.ne.jp

東京都支部大会等の中止について

東京都支部大会、ニューカマーセミナー、初心者対象CW講習会については、新型コロナウイルスの感染症予防のため、3月末までの開催を中止いたします。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

今後の予定等は当支部HPを確認いただけますようご案内します。

支部HP <http://jarl-tokyo.org/wp2>

Report アウトドアフェスティバル2020へ出展



令和2年10月31日(土)・11月1日(日)立川市・昭島市にある国営昭和記念公園が主催するアウトドアフェスティバル2020へ「災害に強いアマチュア無線」と題して当支部も出展しました。当日は天候にも恵まれ、公園会場内はアウトドア・スポーツ・防災といろいろな団体や会社の出展があり、2日間で延べ3万7千人の来場者で過去最高の来場とのことでした。来場者にもコロナ対策の消毒・検温・連絡先票に記載していただき、お子様でも楽しめるよう特小無線機等を準備して無線機をその都度消毒しながら延べ170人が無線通信体験しました。

特別局8J1JARL/1(関東地方本部アマチュア無線活性化キャンペーン局:体験局)の公開運用と体験交信もおこなわれました。このイベントにはご家族連れが多く、アマチュア無線に興味を持って来場されていました。

写真は、東京都支部のブースの状況で、アマチュア無線の体験、無線機器や運用についての相談などがあり、支部役員等で丁寧に対応しました。

東京アマチュア無線ネットワーク、青梅アマチュア無線クラブはじめ地域の会員の皆さんにお手伝いをいただきました。2日間ありがとうございました。

Report 東京都総合防災訓練に出席



令和2年11月22日(日)令和2年度東京都・北区合同総合防災訓練が北区中央公園で実施され、当支部防災対策委員とJARL登録クラブ「芙蓉懇談会アマチュア無線クラブ(JIYTF)」代表の市川さんにご協力をいただき、アマチュア無線と災害時の通信連絡体制等の紹介とJAIYRL/1局の公開運用がおこなわれました。

当日は新型コロナウイルス感染予防のため、入場を規制されて、消毒・検温・連絡票の受付がある防災訓練となり、会場警備が厳しいため一般来場者が例年より少ないようでした。会場からJARL本部JAIRL中央局(高尾会長OP)と交信をおこない通信連絡体制の確認をおこないました。

当ブースには、東京都議会議員も訪れ、熱心にアマチュア無線について質問されておりましたので資格の取得をお勧めしました。またアマチュア無線資格をお持ちの携帯電話会社等の方々も訪れ、大学時代の話や再開局についてお話があり、現在のアマチュア無線状況等をお伝えしました。

防災訓練への出席は、アマチュア無線の良きPRと社会貢献活動につながることを実感しました。参加等協力いただいた皆さん、交信していただいた皆さんありがとうございました。

神奈川県

第1回神奈川ニューイヤーQRVデー

※新年アイボールパーティ代替イベント

毎年恒例になっておりましたが、新年アイボールパーティを1月17日に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、誠に勝手ながら開催を中止させていただくこととなりました。

参加を検討いただいていた皆さんにはご迷惑をおかけすることとなり大変申し訳ございません。

新年アイボールパーティ予定日の、1月17日に、「神奈川ニューイヤーQRVデー」を開催します。

開催目的、内容 QRVデーは多くのハムのみなさんに、新年のあいさつを楽しんでもらうことを目的として開催します。1局との交信(受信)でも立派に参加されたこととなりますが、できるだけ多くの局との交信を楽しんでください。神奈川県内局1局以上を含む、10局以上と完全な交信(SWLは10局受信)をした方は、後述のフォーマットでログ提出をお願いします。提出いただいた方から抽選で、5名の方に防災グッズをプレゼントします。ぜひ参加ください。

開催日時 1月17日0:00~23:59(JST)

参加資格 アマチュア局, SWL

使用周波数帯 総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式および周波数の使用区別」によるもの

参加部門 ○アマチュア局:コードナンバー00 ○SWL:コードナンバー01

呼出 ○電話「CQ 神奈川ニューイヤー」 ○電信「CQ KNNY」 ※データ、画像、ATV等は、電話や電信に準じる

交換する通報 ○県内局:RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す神奈川県内の市・郡・区ナンバー ○県外局:RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す都・府・県(小笠原を含む)、北海道の地域ナンバー

交信(受信)相手局 ○国内局:日本国内、国外のアマチュア局 ○国外局:日本国内のアマチュア局に限る
交信上の禁止事項 ○総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の逸脱

書類の提出 ○神奈川県内局1局以上を含む、完全な交信局数が10局以上のアマチュア局または完全な受信局数が10局以上のSWLは、JARL制定のサマリーシート、ログシート(またはA4判で同形式のもの)を使用 ○電子メールによる書類提出の場合は、電子ログ書類としてJARL主催コンテストにおける所定の様式(JARL推奨旧フォーマット(R1.0))で作成したデータをテキストメールの本文または添付ファイル(テキスト形式ファイルに限る)として提出先メールアドレスに送信 ○紙によるサマリー・ログ書類は、手書きのもののみを受付

提出締切日 電子メール:2月14日(日)必着、紙ログ2月14日(日)消印有効

提出先 ○電子メール:JN1DNV@jarl.com 送信件(Subject)名:エントリーするコールサイン(半角英数字)(例:JN1DNV/1) ○紙ログ書類郵送:〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北3-7-305 山岸純(JN1DNV)宛 ※封筒には、「ニューイヤーQRVデーログ在中」と朱書き

参加記念品 ○書類を提出したアマチュア局, SWLの中から、抽選で5名に防災グッズをプレゼント ○次の場合は、抽選対象にはなりません ・この規約に違反した場合 ・提出したサマリーシートなどに虚偽の記載があった場合

技術講習会「CWQSO実践講座」

日時 2月14日(日)10:00~16:00

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ)1階オープンスペース <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/> 〒252-0303 神奈川県横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413 ○交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分、駐車場は限られた台数です。できるだけ、電車・バスを利用ください ※詳細は、支部HPで案内 ○より実践的な交信体験ができるように、会場を変更する場合があります ※会場変更の場合は、受講者の皆さんに個別に連絡します

内容 CWでうまく交信ができたならなあ、やりたいけど自信がないなど、いままで、CWの免許を持っているにもかかわらず、実際に交信をやったことのない方の

講習会です。3アマ以上の方が対象です。講師には、CWで数々の賞を獲得したベテランHAMをお招きして、CW交信の実践テクニックを教えます。例年本講習会を卒業した有志で構成される、CHC(CWひよこクラブ)の皆さんの支援をいただいて、ほぼマンツーマンの講習会をおこなっていますが、速度は別として最低限、欧文と数字を覚えていただければ、効果的に受講していただけます。ぜひチャレンジしてください。

募集人数 15名(先着順, 従来の半数) 新型コロナウイルス感染防止のため、神奈川県内の方を優先、定員になり次第締切。例年人気の講習会で、JARL NEWS等掲載と同時に定員となる場合が多いので、早目の申込みをお勧めします

参加費 会員：500円 非会員：1,000円(テキスト代等実費) ○講習会は昼食時間を含みます。各自お弁当などを持参 ※会場内で飲食可能 ○会員の方は会員と証明できるもの(会員証など)をお持ちください

申込方法 【往復ハガキ】CW交信講習会受講希望、住所、氏名、コールサイン、年齢、電話番号、従免資格、電鍵持参の有無を明記して次の住所まで ※折り返し受講票を送付 〒225-0005 横浜市青葉区荻子田2-6-6 森野富士彦(JF1NEF) 【電子メール】郵送申込みと同じ内容を、電子メールで jf1nef@jarl.com まで ※返信で参加証等を送付

締切 2月5日(金)、定員(15名)になり次第締切 ※電鍵は必要数を支部で用意しますが、ご自分の電鍵をお持ちの方は、当日持参ください。エレキ等の電源も準備しています

支部役員・監査指導委員・クラブ代表者 合同会議

日時 3月6日(土) ○9:30~11:30 支部役員・監査指導員会議 ○12:00~15:30 支部役員・監査指導員・クラブ代表者合同会議

場所 県立かながわ労働プラザ(Lプラザ) <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/> 〒231-0061 横浜市中区寿町1-4 ☎045-633-5413

交通 JR根岸線石川町駅下車徒歩3分 ※駐車場は限られた台数です。できるだけ、電車・バスを利用ください

案内 登録クラブの連絡者に対しては、別途詳細な案内を郵送

第39回非常通信訓練コンテスト

※今年もログ提出局の中から、抽選で5局に副賞として、防災関連グッズが当たります。紙ログ郵送提出者でEメールでの結果表送付希望者は、電子メールによる書類提出先メールアドレス宛に、その旨記載のメールを送付

日時・使用周波数 4月3日(土) ○18:00~19:59(JST): 3.5/7MHz帯 ○20:00~21:59(JST): 50/144MHz帯 ○22:00~23:59(JST): 430/1200MHz帯 ※各バンドとも運用は、電話(AM, SSB, FM)のみ、各バンドにおける使用周波数帯はJARL主催コンテスト使用周波数帯、1200MHzバンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区分」による ※各バンドの呼出

周波数・デジタル呼出周波数、非常通信周波数は使用しない

参加資格 シングルオペレーターで運用する日本国内のアマチュア無線局(個人局・社団局、ゲストオペ)

交信相手局 ○神奈川県内で運用する局(県内局): 全ての国内局 ○神奈川県外で運用する局(県外局): 神奈川県内で運用する局(県内局)

呼出 ○県内局 電話「CQ神奈川県」 ○県外局 電話「CQ神奈川県 こちらは県外局」

コンテストナンバー ○県内局: RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所の郵便番号(7桁) ○県外局: RST符号による相手局のシグナルレポート+自局の運用場所を示す市・郡・区ナンバー ※神奈川県内の各運用場所を示す郵便番号は、日本郵便株式会社の郵便番号検索サイト(<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>)などを参照。市・郡・区ナンバーについては、JARLコンテストで使用する市・郡・区番号表に準じる

参加部門・種目・コードナンバー 注1) HF-Low(3.5/7MHz)バンド、VHF(50/144MHz)バンド、UHF(430/1200MHz)バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる2つの周波数帯を使用した場合のみエントリーできる 注2) オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合で、注1)以外の場合のみエントリーできる

部門種目		コードナンバー	
		県内局	県外局
電話 シン グル オ ペ	オールバンド 注2	KA	XA
	HF-Low(3.5/7MHz)バンド 注1, 2	KHL	XHL
	VHF(50/144MHz)バンド 注1, 2	KV	XV
	UHF(430/1200MHz)バンド 注1, 2	KU	XU
	3.5MHzバンド	K35	X35
	7MHzバンド	K7	X7
	50MHzバンド	K50	X50
	144MHzバンド	K144	X144
	430MHzバンド	K430	X430
	1200MHzバンド	K1200	X1200

得点 ○コンテストナンバー交換が完全にされた交信を1点 ※県外局同士の交信は無効(0点)とし、また同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波型式が異なっていた場合であっても、1交信のみを得点とし、それ以外は0点

マルチプ라이어 ○県内局: 相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁)、神奈川県以外の異なる市・郡・区 ○県外局: 相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の郵便番号(7桁)

総得点 各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプ라이어数の和

禁止事項 ○クロスバンド、クロスモード、レピータによる交信 ○コンテスト開催時間中における運用場所の変更(コンテストナンバーが変わらなくても不可) ○同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○同一オペレーターによる複数局の運用(同一免許人が有する複数のコールサインなど) ○マルチオペレーター運用(社団局、ゲストオペレーターなどによる複数人での運用)

書類提出 ○JARL制定のサマリーシート、ログシート(または同形式のもの)。電子メールによる書類提出の

場合は、JARL主催コンテストにおける所定の様式(JARL推奨旧フォーマット(R1.0))で作成したサマリー、ログシート(テキストデータ)をメール本文に貼り付けて、提出先メールアドレスに送信。紙ログ書類は、手書きのもののみを受付 ○いずれか1つの部門種目のみに書類を提出 ※審査の対象とすることを希望しないバンドは、チェックログとして提出。チェックログ扱いを希望するバンドの交信については、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシートの意見欄等に希望するチェックログとするバンドを明記 ○常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所を書類に明記(県内局は運用場所を示す郵便番号の地名まで、県外局は市・郡・区まで) ○交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送で提出する場合は、重複する交信、マルチプライヤーの確認書類(チェックリスト)を添付(様式不問)

締切 ○電子メール：4月17日(土)必着 ○紙ログ郵送：4月15日(木)消印有効

提出先 ○電子メール：hijou-test@jarlkn.sakura.ne.jp 送信件(Subject)名：エントリーするコールサイン(半角英数字)(例：JN1DNV/1) ○紙ログ書類郵送：〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北3-7-305 山岸純(JN1DNV)宛(封筒には、非常通信訓練コンテストログ在中と朱書き)

賞 ○全ての部門種目ごとに、参加局数が10局以下：1位、11局から20局以下：2位まで、21局以上：3位までの順位の局を神奈川県支部ハムの集いで表彰し、賞状を贈る ○ハムの集いに出席されなかった表彰対象局には、集い終了後に賞状を郵送 ○ログ提出局の中から、抽選で5局へ副賞として、防災関連グッズを贈る

失格事項 ○本規約に定める事項に違反した場合 ○その他JARL主催コンテスト規約に準じる失格事項

結果発表 ○支部HP(<http://www.jarlkn.info/>)、JARL NEWSなどで公表 ○電子メールによる書類提出者には、電子メールで結果表をお知らせ ○返信先を明記して94円切手を貼った封筒(SASE)を同封した郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信。紙ログ郵送提出者でEメールでの結果表送付希望者は、電子メールによる書類提出先メールアドレス宛に、その旨記載のメールを送付

その他 ○本規約に明記なき事項についてはJARL主催コンテスト規約に準じるものとする

問合せ ○本規約に対する問合せは、書類提出先まで封書(返信先を明記して切手を貼った封筒(SASE)を同封)もしくは、問合せ先メールアドレス(jarlkncontest+request@gmail.com)まで

(参考)

- JARL主催コンテストの電子ログの提出について http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm
- JARL神奈川県支部主催コンテストの電子ログ提出について https://www.jarlkn.info/application/files/4915/8962/2910/2020e_log.pdf

イベント参加者へのお願い

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防、拡散防止のため、イベントの実施に際して下記の対応をお

こなうことをお知らせします。

参加者並びにスタッフの健康と安全確保のための対策となりますので、ご理解いただきますよう、お願いします。

会場の対策 ○机等をアルコール消毒します ○参加人数、今までの半分以下とし、ソーシャルディスタンスの確保に努めます ○屋内イベントの場合、部屋の換気を頻繁におこないます

運営スタッフの対策 ○スタッフは日常における体調管理に努め、うがい、手洗い等の感染予防を励行します ○職員がマスクを着用し、来場者の方に対応します

イベント参加者へのお願い ○当日出発前に、必ず検温をおこない、体調を確認のうえ、お越しくください ○発熱・咳等の症状がみられる方は、参加をお控えください。参加中に体調の変化を感じられた場合は、無理をなさらずに早めにお申し出ください ○イベント参加時には、うがい、手洗い、マスク着用など、ご自身の感染予防にも努めていただくようお願いいたします ※マスクの用意はありません ○小規模イベントでは、会場受付で非接触体温計にて検温をおこないます。ご協力をお願いします

今後のイベントについて中止・延期になった場合は、HP、SNSでお知らせしますのでご確認ください。

Report 「ニューオペレーターズ・セミナー」終わる



令和2年10月17日(土)、こども自然公園(横浜市旭区)で「ニューオペレーターズ・セミナー」が開催され6名の方々が受講されました。今までは屋内でのセミナーでしたが、今回は公園という野外でのセミナーを開催しました。前半は、初心者向けの用語の解説から専門的な知識(電波、アンテナなど)やハムの楽しみ方(コンテスト、アワードなど)、運用マナーとテクニックなどを先輩ハムのみなさんが体験談を交えた解説があったほか、あらかじめいただいた質問事項についても詳細な解説をおこない、後半は、同公園で運用をおこなっていた、横浜市役所新庁舎竣工記念特別局8N1Y/1と、全員が交信をおこないその場でQSLカードを発行し、手渡しました。

その後は、受講者の皆さんにCQを出していただくように思っておりましたが、朝から降っていた雨が更に強まり、残念ながら今回は断念しました。今回参加いただいた方々向けに、講師と直接コミュニケーションがとることができる、LINEのオープンチャットを開設し、セミナー当日の夜から、質問や、運用予告等、活発な盛り上がりを見せております。ハム人口が減少していると言われていた昨今、貴重な時間を費やして受講していただい

た方々が、本セミナーを契機に、より充実したハムライフを楽しまれることと思います。

Report 技術講習会「コモンモードフィルターの製作とVNWAでの測定」終わる



令和2年10月17日(土)、横浜市中区の神奈川労働プラザ(Lプラザ)1階オープンスペースにおいて、技術講習会「コモンモードフィルターの製作とVNWAでの測定」が開催されました。毎年大人気の講習会ですが、感染拡大防止観点から、定員を例年の半数の15名とし、開催しました。アマチュアとして気軽にチャレンジできる周辺機器の一つとして、コモンモードフィルターのキットを実際に製作、自分が製作したコモンモードフィルターの性能をVNWA(ベクトルネットワークアナライザー)を使用し、広い周波数帯でグラフ表示してどこまでの帯域で効果的に使用できるか等を確認、自分で製作したコモンモードフィルターの性能を目で見ることのできる新鮮さに受講者の皆さんは興味津々、目から鱗の1日でした。当日は神奈川県支部の技術指導委員長JH10HZ片倉由一氏を講師にお願いして開講、15名の皆さんに受講いただきました。受講していただいた皆さんには、各種インターフェアの実態やその対応についても理解を深めていただけたものと思います。中には、半田付けは不慣れという方もいらっしゃいましたが、製作の容易さと再現性を高めた完成度の高いキットを用意していただき全員が無事製作を完了、十分な性能があることを確認することができました。

神奈川県支部では、今後も皆さんからのご要望にお応えできるような講習会を企画していきますので、参加をお待ちします。

千葉県

ちばハムの集い2021

コロナ禍の新規感染が続いており、ちばハムの集い2021の開催について状況が予測できません。現在、開催の方向で準備していますが、施設の利用制限や、イベントの縮小、来賓者、来場者全員の氏名と連絡先の記載も予想されます。また、開催直前の中止もあり得ます。開催または中止の連絡は支部HPでおこないますので各自確認してください。

JARL会員の方はもちろん、これからアマチュア無線を始めたい方など、どなたでも楽しく参加できます。アイボールQSOで無線技術情報、ロケーションの良い移動運用場所などハムライフに活用いただければ幸いです。

す。各局においては忙しい中、都合調整のほど、家族、友人、隣人をお誘いあわせのうえ、来場ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2月14日(日)10:00~16:00(9:30受付開始)
会場 千葉県四街道市文化センター 四街道市大日396
<http://yotsu-foundation.or.jp/bunka/>

交通 ○JR成田線、総武本線四街道駅北口下車徒歩15分
○千葉内陸バス「千代田団地」行き乗車「市役所前」下車徒歩3分
○ちばグリーンバス「京成佐倉駅」行きまたは、「田町車庫」行き乗車「市役所前」下車徒歩3分
駐車場 201台(うち4台身体障害者用) ※市立図書館と共用、無料 8:30から21:00まで。隣接する市役所駐車場も利用可

内容 ○講演(詳細が決まり次第支部HPで発表) ○不要品交換コーナー(ジャンク、リサイクル) ○電子申請普及促進活動 ○展示・紹介コーナー ○QSLカード転送受付 ○千葉県登録クラブブース ○アマチュア無線を始めたい方の相談コーナー ○支部事業報告・事業計画 ○非常通信訓練報告 ○第35回オール千葉コンテスト表彰式 ○お楽しみ抽選会(条件付き景品についてはJARL会員証の提示が必要) ○記念撮影 ○その他

出展者募集 ○不要品交換コーナー(出展費用500円) ○スペースが限られていますので多い場合は先着順。希望の方は 連絡者氏名、住所、電話番号、Eメールを明記し1月31日(日)までに下記Eメールまで連絡 ※件名には不要品交換と明記

問合せ 岡本 武 Eメール tsudoi@jarl-chiba.info

※支部HP <http://www.jarl-chiba.info/>

埼玉県

役員・監査指導委員会議

開催日 2月7日(日)
Web会議で開催します。

支部大会中止のお知らせ

埼玉県支部大会を3月21日(日)に計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染状況を検討しました結果、誠に残念ですが中止いたします。

Report 感度交換訓練の実施



令和2年10月4日(日)埼玉県庁第2庁舎防災無線室より感度交換訓練を実施しました。参加局は県内局59局、埼玉県外局23局です。今回、D-STAR(堂平山430レピー

タ)による画像伝送もおこない画像での情報伝達の有効性を確認しました。

Report 「JOTA-JOTI Plaza 2020」に協力参加



埼玉県支部と東京都支部は、令和2年10月17日(土)・18日(日)の両日ボーイスカウトのアマチュア無線プログラムの一つ「ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)」に参加する目的の「JOTA-JOTI Plaza 2020」に協力するかたちで参加しました。

このイベントでは、今春の法令改正等により実施可能となった、無資格者がアマチュア無線の交信を体験できる無線局(以下、体験局)を開設して、無線運用を実施しました。

支部としての協力は、アマチュア無線を知らないスカウトへ、アマチュア無線とはどのようなものなのかを紹介。電波は実は身近なところで使われていること、無線通信の歴史などを学び、この後に体験するアマチュア無線の体験交信に備えてもらいました。

体験局(8J1JOTA)運用はスカウト、指導者等合わせて約40名が交信体験をおこない、延べ83局と交信することができました ※8J1JOTA、関東地方本部が開設した8J1JARLは「体験局」と「特別局」が同時に免許されました。

Report 役員・監査指導委員・登録クラブ代表者合同会議開催

令和2年11月29日(日)、Webにより合同会議を開催しました。

群馬県

技術講習会「HF帯同調回路付き QRPホイップアンテナの製作」

日時 2月21日(日) 13:30~16:00(予定)
場所 群馬県生涯学習センター三階 創作実習室B 群馬県前橋市文京町20番22号 ☎027-224-5700(代表)
会費 2,000円 ※当日徴収します
内容 7~21MHzポータブル機用ホイップアンテナを製作しこのアンテナの基礎と応用などを説明します
受講者が用意する工具類 M3用ドライバー(No.2)、ラジオペンチ、ニッパー、ピンセット、カッターナイフ、はんだ鍍(拡大鏡、M3用ボックスドライバーなど(5.5mm)があれば便利)、お持ちの方は、測定用にアンテナアナライザまたはハンディトランシーバ(HF帯)と対応するSWR計があると便利
定員 先着10名
申込 Eメールで、タイトルを「技術講習会参加」にして、

コールサイン、氏名、住所、電話番号を記入し jh1ndm@jarl.com へ ※必ず返信で受付番号を送ります

その他 ○コロナウイルス対応のためマスク着用、入口での手の消毒、体温の測定で発熱のないことを確認、体調の調査、氏名の記入など協力をお願いします。製作の概要は、JH1NDM HP <http://www.7plala.or.jp/jh1ndm/> アマチュア無線ページをご覧ください

締切 定員になり次第締切

山梨県

技術講習会

日時 2月21日(日) ○9:00 支部役員/クラブ代表者会議/監査指導委員会 ○12:00 受付開始 ○13:00 技術講習会開会 ○16:00 終了予定
場所 甲府市健康の杜センター「アネシス」甲府市下向山町910番地 ☎055-266-6400 ○中央道甲府南インターより国道358号線を精進湖方面へ約5分、三叉路を曾根丘陵公園方面へ右折、公園手前の左側 ※上履きを持参ください
内容 WIRES-X ノード構築と運用(リモートを含む) ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催中止変更の場合がありますので、最新情報を支部HPにてご確認をお願いします
参加資格 定員40名(事前申込み不要) ※どなたでも参加できます
その他 ○催事限定入会金免除・青少年お試し入会キャンペーン:22歳未満の方は入会金、会費(1年分)とも申請により免除されます。また、一般の方でも入会金が免除されます。お知り合いの方で興味のある方がいたら入会をお勧めください ※アマチュア無線の資格の有無は問いません ○QSLカード転送受付の実施 ○関東地方本部アマチュア無線活性化キャンペーン特別局(8J1JARL)の運用 ○ミニ抽選会

2エリア

東海地方

地方本部

第61回東海QSOコンテスト

【主な変更点】 ○電子ログの提出は、基本的にWeb提出のみ。Web提出できない場合は、提出締切日までに書面(紙ログ)により提出 ○マルチオペ種目の場合、意見欄(電子ログの場合は<MULTIOPLIST>)に記述する内容から「無線従事者資格」を削除し、「コールサインまたは氏名」に変更 ○ジュニア種目の場合、意見欄にオペレータの「年齢」(マルチオペオールバンドジュニア種目は「各オペレータの年齢、交信局数」)を明記するように変更 ○令和2年4月21日に一部改正された無線局免許手続規則において無資格者が有資格者の指揮のもとで臨時に開設したアマチュア無線(社団局)は、現在その取扱い等について検討中であることから、今回参加することはできない
日時 3月20日(土/祝) 09:00~15:00(JST)
参加資格 日本国内の陸上で運用するアマチュア局、SWL
使用周波数帯 3.5MHz帯以上(3.8/10/18/24MHz帯を

除く) ※JARL コンテスト周波数帯

部門 ○管内局部門 ○管外局部門

種目・コードナンバー

種目名称			コードナンバー	
			管内	管外
シングルOP	電信電話	オールバンド	I-SA	X-SA
		オールバンド・ジュニア (OPの年齢は20歳以下)	I-SAJ	X-SAJ
		オールバンド・QRP (出力5W以下, 出力低減による参加を認める)	I-SAQ	X-SAQ
		HFバンド	I-SHF	X-SHF
		HFローバンド	I-SHL	X-SHL
		HFハイバンド	I-SHH	X-SHH
		50MHzバンド以上	I-SVU	X-SVU
		3.5MHzバンド	I-S3.5	X-S3.5
		7MHzバンド	I-S7	X-S7
		14MHzバンド	I-S14	X-S14
		21MHzバンド	I-S21	X-S21
		28MHzバンド	I-S28	X-S28
		50MHzバンド	I-S50	X-S50
	144MHzバンド	I-S144	X-S144	
	430MHzバンド	I-S430	X-S430	
	1200MHzバンド以上	I-SG	X-SG	
	電信	オールバンド	I-SCA	X-SCA
		HFバンド	I-SCHF	X-SCHF
		HFローバンド	I-SCHL	X-SCHL
		HFハイバンド	I-SCHH	X-SCHH
50MHzバンド以上		I-SCVU	X-SCVU	
電話	オールバンド (参加資格は4アマ局のみ)	I-SPA	X-SPA	
	オールバンド・D-STAR (出力20W以下, モードはDVのみ)	I-SPDV	X-SPDV	
	144/430MHzバンド (出力20W以下, モードはFMのみ)	I-SPD	X-SPD	
マルチOP	電信電話	オールバンド	I-MA	X-MA
		オールバンド・ジュニア (20歳以下のOPによる運用が全交信数の80%以上であること)	I-MAJ	X-MAJ
	電信オールバンド	I-MCA	X-MCA	
SWL電信電話オールバンド			I-SWL	X-SWL

交受信相手 ○管内局：日本国内の陸上で運用する局

○管外局・SWL：2エリア内の陸上で運用する局

呼出 ○管内局「CQ TEST」「CQ コンテスト」 ○管外局「CQ TKI TEST」「CQ 東海コンテスト」

コンテストナンバー 管内局：RS(T) + 市郡区ナンバー

○管外局：RS(T) + 都府県支庁ナンバー ※名古屋市

市(2001), 静岡市(1801), 浜松市(1802)はコンテスト

ナンバーとして使用することはできない

マルチブライザー 管内局：異なる2エリア内の市郡区

の数, 2エリア外の都府県支庁数 ○管外局・SWL：

異なる2エリア内の市郡区の数 ※名古屋市(2001),

静岡市(1801), 浜松市(1802)をマルチとして計上で

できない ※バンドが異なれば同一の市郡区・都府県支

庁でもマルチ

得点 コンテストナンバーの交換が完全にされた交信

(受信)を使用バンドにより次の得点 ○3.5~21MHz

帯：1点 ○28MHz帯：2点 ○50~430MHz帯：1点

○1200MHz帯：3点 ○2400MHz帯：5点 ○

5600MHz帯：10点 ○10.1GHz帯以上：20点 ※同一

局とは同一バンドにおいて電信・電話それぞれ1交

信(受信)ずつ有効

総得点 ○シングルバンド：当該バンドで得た得点の和

×当該バンドで得たマルチの和 ○オールバンド

(1200MHz帯以上種目も含む)：各バンドで得た得点

の和×各バンドで得たマルチの和

禁止事項 ○クロスバンド, クロスモードによる交信

○レピータ等による中継交信 ○シングルオペ局の2

波以上の電波の同時発射 ○マルチオペ局の同一バ

ンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオ

ペ局の複数地点からの運用 ○JARL主催コンテスト

使用周波数帯からの逸脱

注意事項 ○電信電話部門の各種目には電話のみ, 電信

のみの交受信でも参加できる ○HFローバンド種目

は, 3.5MHzバンド, 7MHzバンドを使用し, HFハイ

バンド種目は14MHzバンド, 21MHzバンド, 28MHz

バンドを使用 ○オールバンド・D-STAR種目は,

28MHzバンド以上を使用し, DVモードで交信する。

交信はレピータを使用しないシンプレックス交信に限

る。呼出周波数はFMモードのみを使用し, サブ周波

数でFMモードからDVモードに移行して交信を成立

させるとよい ○コンテスト中の運用場所の変更はコ

ンテストナンバーの変わらない範囲で認める (SWLは

管内局においては同一市郡区内, 管外局においては同

一都府県支庁内の移動可) ○シングルオペはコンテ

スト開催中, コンテストに関する諸作業 (ログ記入,

重複交信, マルチのチェック, 設備操作など)を全て

独力ですること ※マイクコントロールなど第三者の

助けを借りて運用した場合や, 同一周波数を複数の局

で相互に譲り合いながら運用した場合はマルチオペ

○書面(紙ログ)で提出する場合, 鉛筆書きによるロ

グシート・サマリーシートは書類不備扱い ○その他

はJARLコンテスト規約に準じる ○参加局は, コール

サイン, 氏名等が結果発表の際に公表されることが

あるのでその旨了承すること

失格事項 ○同一バンドにおいて重複する交受信局数が

ログに記載されている交受信局数の2%を超え, かつ

得点としている場合 ○2種目以上に書類を提出した

場合 ○審査の結果, 提出書類に明らかに虚偽の記載

が認められる場合 ○この規約に定める事項に違反し

た場合

書類提出 書類の提出は専用Webサイトからを基本。

それ以外は書類を郵送で提出 ※今回から電子メール

による書類提出はできない ○専用Webサイトから

提出する書類は, JARL主催コンテストの電子ログと

同形式とし, ログは運用バンドごとにまとめる (東海

地方本部主催コンテストでは, 引き続きJARL電子ログ

R1.0形式に準じた書類の提出にご協力ください)。専

用Webサイトでは, サマリーシートの各項目を入力

して電子ログR1.0形式に準じた書類を作成しそのまま

提出することもできます (目視による審査をするため,

ログシート部分ではできる限りバンド順に並べてくださ

い。参考：CTESTWINをお使いの方は「JARL推奨

旧フォーマット(R1.0)」を使用し, 「周波数順に出力

する」にチェックするとよいでしょう) ○書類を郵送で提出する場合、JARL制定の「サマリーシート」、「ログシート」(または同形式のもの)を使用し、サマリーシートを一番上にし、左上をホチキスなどで留める。東海地方本部主催コンテストは、当分の間コンピュータ印字による手書きログの提出を認める ○マルチオペ種目の場合、コンテスト中に運用した者のコールサインまたは氏名を意見欄(電子ログの場合は<MULTIOPLIST>)に明記(書類を郵送で提出する場合、同欄に全部記入できないときはサマリーシートの裏面または別用紙(他の書類と同サイズ)に記入) ○ジュニア種目への参加局はオペレータの年齢(マルチオペは各オペレータの年齢と交信局数)を意見欄に必ず明記 ○移動運用して参加した局は、運用場所を市区町村名まで明記 ○令和2年4月21日に一部改正された無線局免許手続規則において無資格者が有資格者の指揮のもとで 臨時に開設したアマチュア無線局(社団局)の書類提出はできません(チェックログ提出による参加は可)

締切 4月10日(土)当日消印有効

提出先 専用Webサイトから送る場合: <https://isotope.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/tokai-log.html>(次のQRコードからもアクセスできます)



※専用Webサイトから書類を提出すると、簡易的なログチェックや即時受理通知が受けられます ○郵送: 〒470-0391 豊田北郵便局 私書箱20号 JA2RL「東海QSOコンテスト」係 ※

「コンテストログ在中」と朱書

表彰 ○管内局・管内SWL: 各種目ごとに各県1位局を各県の支部大会で表彰。シングルオペ電話、電信電話、シングルオペ電信、マルチオペにおける各県の最高得点局には併せて中日新聞社賞を贈る ○管外局・管外SWL: 参加局数に応じ、1~3位を表彰 ※表彰対象はJARL会員 ○登録クラブ対抗(クラブごとに集計した合計得点で競う): 2エリア内のJARL登録クラブの構成員(SWLを除く管内シングルオペ局ならびにマルチオペ局1局)から申告された総得点をクラブごとに集計のうえ、それぞれ各県1位の登録クラブを表彰。サマリーシートの登録クラブ対抗欄にクラブ番号・クラブ名称を必ず明記 ※明記のない場合は構成員であっても集計対象外

参加証 郵送で書類を提出する場合、返信用封筒(住所、氏名、呼出符号(局を開設している方)、郵便番号を明記し、84円切手を貼った封筒)(120mm×235mmの定型封筒)を同封したアマチュア局(SWL)には、参加証を発行 ※専用Webサイトから書類を提出する場合は、別途返信用封筒を郵送

問合せ 提出先までSASE、またはEメール(tkitst@isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp)・HP(<http://isotope.iso.sist.chukyo-u.ac.jp/tkitest/>)で

注意 ○岐阜県中津川市に越県編入合併された旧長野県(木曾郡)山口村を常(設)置場所とする0エリアのコールサインで運用する局も「東海地方本部管内(岐阜県中津川市)」とみなす ○本コンテストは参加種目が「シングルオペ/マルチオペ」の区分となっており、JARL本部主催コンテストと同様、提出する

書類は各種目のうちいずれか1種目のみに提出する ※1人の運用者が2以上の局で参加したときは、そのいずれか1局の書類提出に限る ○東海地方本部主催コンテストは、参加証送付用封筒の送付等を考慮し引き続き紙ログの提出も継続しますが、書類は可能な限りWeb提出をお願いします

賞状送付について 東海QSOコンテストにおける東海4県内入賞者の表彰式は、各県の支部大会でおこないます。近年、この表彰式に来場いただけなかった受賞者への賞状等郵送費用が大きくなり、コンテストの開催のものを圧迫しています。東海地方本部では、第56回以降の東海QSOコンテストの表彰について、来場いただけなかった受賞者への賞状等の送付をおこなわないことになりました。賞状等の送付を希望する方は、下記の手続きをした場合にのみ賞状等を送付。送付を希望する方は、下記内容を記載したメモと所定の金額分の切手(140円)を送付いただきます ※各県支部から入賞者へ連絡される式典出席通知へ返信・同封しても対応されません。必ず下記宛先まで送付

メモに記載する内容 ○コンテスト名: 第61回東海QSOコンテスト ○表彰支部大会: 静岡・岐阜・愛知・三重(いずれかに○印) ○コールサイン ○氏名 ※送付先を変更するときのみ、新郵便番号、新住所[メモと140円切手の送付先] 〒470-0391 豊田北郵便局私書箱20号 JARL東海地方本部コンテスト委員会賞状送付係 ○一度申込んだ依頼を取り消す等、変更のある場合: tkitst@isotope.sist.chukyo-u.ac.jp へ連絡 ○手続きの締切は、毎年11月末日とし、送付は東海4県すべての支部大会終了後(12月頃) ※愛・地球博記念コンテスト、東海マラソンコンテスト、東海QSOコンテスト(管外局のみ)については、支部大会表彰をしませんので、東海地方本部から賞状等を受賞者全員に発送

後援 中日新聞社

岐阜県

Report 岐阜県支部大会開催



2020年11月15日、岐阜県支部大会を今年度は規模を縮小して開催しました。

60名と少人数でしたが、有意義に過ごした大会でした。

愛知県

アマチュア無線なんでも相談会

アマチュア無線技士国家試験の受験対策やCWや新しいモードなどの運用方法など、アマチュア無線に関するさまざまな質問をお受けする相談会を開催します。ぜひご参加ください。



日時 2月11日(木/祝) 10:00~15:00
場所 東別院会館(予定 ※確定したらここに連絡します)
内容 [10:00~12:00超・初心者向けモールス勉強会] ○対象:これからモールス符号を覚えようとしている方,これからCWで交信してみたいと思っている方 ※受験対策ではありません。CW QSOをはじめるためのきっかけを作ることを目的とします。実際にCWで交信できるようになるには,本イベント終了後,各自でじゅうぶんな練習等が必要 ○内容「モールス符号とその覚え方」新たにモールス符号を覚えCW QSOをしたいと思っている方向け ・持ち物:筆記用具のみ(電鍵などの持参は不要) [13:30~14:00JARL愛知県支部から(講演)]JARL愛知県支部長(7L1FFN/2磯)から,JARLのこと,東海ハムの祭典のこと,愛知県支部の活動等について講演・説明します [14:00~15:00アマチュア無線なんでも相談会(座談会)] ○無線従事者国家試験の受験を控えている方向けに試験問題等に関する質問を受け付けます ○わからない問題や,複雑な計算を要する問題等をお持ちください。スタッフが親切丁寧に解説します ○CWや新しいモードなどの運用方法や免許の再開局方法,新しいモードや移動方法など,アマチュア無線に関することについて何でも相談に応じます ※当日回答できないご相談については持ち帰らせていただき,後日回答することがあります

参加費 無料

申込 ○資料準備のため,午前の「モールス符号とその覚え方」のみ事前申込み ※午後の講演,座談会は事前申込不要・入退出自由 ○愛知県支部イベント申込Webサイト <http://www.jarl.com/aichi/>

申込締切 2月5日(金)まで

※教室や感染予防対策等の都合により,申込多数の場合は早期に募集終了・予定変更することがあります。申込はお早めに

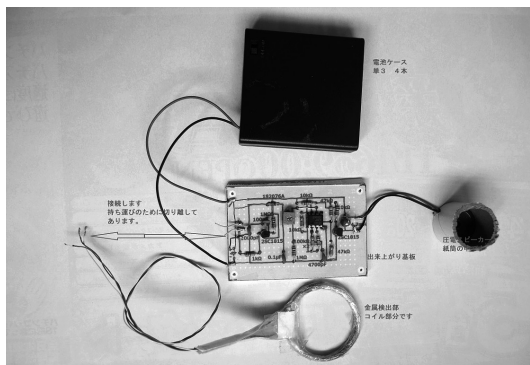
三重県

技術講習会

日時 2月7日(日) 13:00~
場所 津市雲出地区防災コミュニティセンター 三重県津市雲出伊倉津町792-1
内容 金属探知機(お宝発見器)を作ろう ※皆さんに楽しんで制作していただけるように企画しました
募集人員 15名程度(三重県内在住の方)
 新型コロナウイルス感染拡大のため,感染予防の観点からやむを得ず中止の判断をさせていただく場合もあ

ります
 ※参加費等詳細は,後日支部HP (<http://jarl-mie.com/>)に記載。ご覧いただき,皆さんの参加をお待ちしております。

参考・製作例



3エリア

関西地方

地方本部

Report フィールドミーティング開催



2020年10月11日(日),台風一過のこの日大阪市内で,恒例のフィールドミーティングを開催しました。幸いにも好天に恵まれ終日,無線談義に花を咲かせました。

特記として8J3YAAと8J1YAB間で,体験臨時局の交信が実現しました。全くの偶然でしたが,双方とも女性の運用でした。交信が終わってから盛大な拍手が起きました。

京都府

第65回京都コンテスト

非常時に備えての府内,その周辺の電波伝搬の調査研究,通信技術の向上,アマチュア無線界の友好増進などを目的とし,JARL京都非常通信協議会の通信訓練を兼ねて実施します。

開催日時 2月6日(土) 20:00~2月7日(日) 16:00
 バンドごとに開催時間が異なる [2月6日] ○20:00~22:00 3.5MHz帯 ○22:00~24:00 1.9MHz帯 [2月7日] ○8:00~9:00 14/144MHz帯 ○9:00~10:00 21/144MHz帯 ○10:00~11:00 28/50MHz帯 ○11:00~12:00 50/1200/2400/5600

MHz帯 ○13:00～14:00 7/430MHz帯 ○14:00～16:00 7MHz帯

参加資格 日本国内の全てのアマチュア局・SWL局
使用周波数帯, モード 上記のアマチュアバンドにおけるCW/SSB/FM/AMモード ※1.9MHz帯はCW1.9075～1.9125, SSB/AM 1.845～1.875, 3.5～430MHz帯はJARL主催のコンテストの使用周波数帯による

交信(受信)の相手局 ○京都府内の局:日本国内で運用する全てのアマチュア局 ○京都府外の局:京都府内で運用する全てのアマチュア局 ○SWL:京都府内で運用する全てのアマチュア局

参加部門(カテゴリコード) 注1) マルチA:4バンド以上のシングルオペマルチバンド 注2) マルチB:3バンド以下のシングルオペマルチバンド 注3) マルチC:V, U, SHF帯のシングルオペマルチバンド

部門	カテゴリコード		
	府内局	府外局	
シングルオペ	マルチA	IA	OA
	マルチB	IB	OB
	マルチC	IC	OC
	1.9MHz	I19	O19
	3.5MHz	I35	O35
	7MHz	I7	O7
	14MHz	I14	O14
	21MHz	I21	O21
	28MHz	I28	O28
	50MHz	I50	O50
	144MHz	I144	O144
	430MHz	I430	O430
	1200MHz	I1200	O1200
	2400MHz	I2400	O2400
5600MHz	I5600	O5600	
マルチオペ	マルチ	IM	OM
SWL	マルチ	ISWL	OSWL

※新型コロナウイルス感染予防対策をおこなって、運用してください。今年度も京都コンテストは移動運用、マルチオペ部門を含めて規約通り開催。手洗いの徹底・マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、密閉、密集、密接となる行動を避けるよう、参加者は各自注意を払ってください。再び緊急事態宣言が発令された場合の対応については、支部HPで告知

呼出 [電話] ○府内局「CQ 京都コンテスト こちらはJA3○×△です。どうぞ。」 ○府外局「CQ 京都コンテスト こちらは府外局JA3○×△です。どうぞ。」 [電信] ○府内局「CQ TEST DE JA3○×△ K」 ○府外局「CQ KT TEST DE JA3○×△ K」

コンテストナンバー ○京都府内局 電信, 電話:RS(T)+市区郡符号+下記の2または3桁の英数字・JARL京都非常通信協議会の登録者は, 3桁の数字(601～799)によるボランティア番号・JARL登録クラブの社団局は, 3桁の登録ナンバー・上記以外の局は運用者名のイニシャル2文字 例)59(9)W10603(京都市山科区(W10)からJARL京都非常通信協議会のボランティア番号603の局がQRVした場合) 例)59(9)W07102(京都市南区(W07)から登録ナンバー22-1-2のクラブ局がQRVした場合) 例)59(9)W04TK(京都市中京区(W04)から京都太郎(TK)さんがQRVした場合) 注)マルチオペ部門でJARL京都非常通信協議会の登録者が運用する場合は, イニ

シャルあるいは登録クラブ番号に代えて, 運用者のボランティア番号を送出することができる ○京都府外局 電信, 電話:RS(T)+都府県・地域等略号+運用者名のイニシャル2文字 例)59(9)OSTO(大阪府(OS)から大阪太郎(TO)さんがQRVした場合)

交信上の禁止事項 ○クロスバンドによる交信 ○同一部門におけるコンテスト中の運用場所の変更 ○シングルオペの同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○マルチオペの複数地点からの運用 ○レピータ等による交信

得点 ○京都府内局:相手局が京都府内局2点, 府外局1点 ○京都府外局, SWL:相手局が京都府内局1点, 府外局0点

マルチプライヤー ○第一マルチ:各バンドで得た異なる京都府内の市区郡, 都府県・地域等(京都府内局のみ) ○第二マルチ:各バンドで得た異なるJARL京都非常通信協議会のボランティア番号, 府内登録クラブの登録番号 ※第一マルチと第二マルチの合計をマルチプライヤー ※非常通信協議会登録局や登録クラブとの交信によって1交信で同時に複数のマルチプライヤーが発生する場合がある 例)「W10」が未交信で, 「W10603」のコンテストナンバーを交信相手からもらった場合, この1交信で「W10」と「603」で2マルチを獲得) 注)当コンテストではJARL京都非常通信協議会の周知, 啓発のためボランティア番号をマルチプライヤー

ニューカマーマルチプライヤー ○係数(×2.5):2020年2月1日(第64回コンテスト開催日の翌日)以降に初めて局を開設したシングルオペ ○係数(×1.5):2019年2月4日(第63回コンテスト開催日の翌日)以降に初めて局を開設したシングルオペ ○係数(×1.2):2018年2月5日(第62回コンテスト開催日の翌日)以降に初めて局を開設したシングルオペ ○係数(×1):上記以外

総得点 ○マルチバンド:各バンドにおける得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和×ニューカマーマルチプライヤー係数 ○シングルバンド:当該バンドにおける得点の和×当該バンドで得たマルチプライヤーの和×ニューカマーマルチプライヤー係数 ※総得点の小数点以下の端数は切り上げる

書類の提出 ○電子ログを推奨 ○郵送で提出する場合には, JARL制定または同様のログシート, サマリーシートを使用。サイズはA4またはB5に限る ○ゲストオペレーター運用時は実運用者名でサマリーを提出 ○電子ログは, JARLコンテスト委員会制定の形式(詳細は支部Web <http://www.jarl.com/kyoto/contest/KT/emailent.htm> 参照) ○シングルバンド部門は2部門まで提出ができる。運用者が同一の場合, コールサインが異なっても同一局とみなす ※シングルバンド部門とマルチバンド部門の重複提出は認めない ○マルチオペマルチバンド部門に参加したオペレーターは, 他のカテゴリへのログ提出はできない ※マルチバンド部門は1部門のみ提出できる ○電子ログの場合, 訂正等で複数のログ提出があった場合は参加部門ごとの最新のログを有効なログとする。参加部門変更等により前述の提出可能なログ数を超えた場合は, サ

マリーシートの意見欄に有効とするログがわかるように明記(最初にマルチバンドC部門に提出し、その後、シングルバンド144MHz部門と430MHz部門に変更した場合は、シングルバンド部門とマルチバンド部門の重複提出になる場合があるため) ○紙ログの場合、提出部門ごとにサマリーとログを綴じ、書類を明確に分離して提出。電子ログの場合は、1電子メールに1部門の提出 ○チェックログは参加部門のログシートと明確に分けて提出し、サマリーシートの意見欄にチェックログである旨を明記 ※参加部門のログに混在させて提出する場合は、該当部分の得点を0とし、マルチプライヤー欄を空欄として提出。またサマリーシートの意見欄に「このログの7MHzQSO分はチェックログです」等、どの部分がチェックログかを明記。電子ログの場合は、件名をCALLSIGN:CLとし、提出先アドレスに送付 ○同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信)は、電波型式が異なる場合も0点 ○サマリーシートとログシートの内容は一致していること ○入賞対象局については、交信時に記入したログの提出を求めることがある ○同得点の場合は、最終QSO時刻が早い局を上位 ○マルチオペ部門にログを提出する場合は、意見欄にオペレーターのコールサイン(または氏名)、資格を明記 ○ニューカマーマルチプライヤーにて係数(×2.5~1.2)を算入した局については、局免許年月日をサマリーシートの意見欄に明記。後日、確認のため、無線局免許状等の提出を求めることがある ※コンテスト結果にはニューカマーであることが明記

提出締切日 2月28日(日)消印有効 電子メールの場合はサーバ受信時のタイムスタンプ

提出先 ○郵送:〒617-8691 京都向日町郵便局私書箱21号 JARL京都クラブコンテスト係 ○電子メール kt-test@ja3yaq.ampr.org

賞 上位局には京都府知事賞などの賞を贈る。複数部門にエントリーしたものはエントリーごとに取扱う

失格事項 ○電波法またはこれに基づく命令に違反した場合 ○本コンテスト規約に違反した場合 ○虚偽の内容報告がある場合 ○提出書類などが不備な場合 ○その他、本コンテスト委員会が失格と判断した場合

結果発表 ○JARL京都クラブNews, JARL NEWS, 支部のWeb等に発表 ○電子メールにて書類提出の局には電子メールにて個別に結果を送付 ○結果の郵送を希望する局は、84円切手を貼った長形3号(120×235)サイズの返信用封筒を同封

コンテストレビュー ○提出されたログ、サマリー情報をもとに参加者の状況を分析し、意見、コメントとともに結果をJARL京都クラブNews, 支部のWeb等に発表(昨年度の実績は30ページ) ○コンテスト結果に加えてコンテストレビューを郵送で希望する局は、意見欄に「コンテストレビュー送付希望」と記載、84円切手5枚(送付代、印刷代)と角形2号(240×332)サイズの封筒(切手は貼らないでください。)を同封 ○電子メールにて書類提出の局には電子メールにて個別に結果を送付 ※コンテストレビューにコメント内容の掲載を希望しない場合は、サマリーの意見欄を空白にするか、希望しない旨を明記

参加証 参加証を希望する場合は、84円切手を貼った洋

形2号(114×162)サイズの封筒を同封 ※結果、コンテストレビューの郵送を希望した局にはあわせて参加証を郵送 ※この場合、洋形2号のサイズの封筒は不要

後援、協賛 京都府、京都市、京都新聞、その他
JARL京都非常通信協議会について JARL京都非常通信協議会については支部HPを参照(<http://www.jarl.com/kyoto/oso/kyoutei/kyoutei1.htm>)

その他 ○不明な点についての問合せは必ずSASEまたは、電子メール(問合せ専用アドレス: kt-testqa@ja3yaq.ampr.org)で ※電話での問合せには絶対対応しない ○規約・結果・電子ログ提出方法などは支部HPでも見ることが出来る ○コンテスト結果に対する異議の申立、再審査、裁定については支部のコンテスト規程参照 ○特別に明記されていない事項については京都コンテスト委員会において審議の上取扱いを決定(<http://www.jarl.com/kyoto/contest/kt-test.htm>)

【京都府内の市区郡符号】 福知山市C02 舞鶴市C03 綾部市C04 宇治市C05 宮津市C06 亀岡市C07 城陽市C08 長岡京市C09 向日市C10 八幡市C11 京田辺市C12 京丹後市C13 南丹市C14 木津川市C15 乙訓郡G03 久世郡G06 相楽郡G08 綴喜郡G10 船井郡G12 与謝郡G14 北区W01 上京区W02 左京区W03 中京区W04 東山区W05 下京区W06 南区W07 右京区W08 伏見区W09 山科区W10 西京区W11

【京都府外の都府県・地域等略号】 宗谷SY 留萌RM 上川KK オホーツクOH 空知SC 石狩IS 根室NM 後志SB 十勝TC 釧路KR 日高HD 胆振IR 檜山HY 渡島OM 青森AM 岩手IT 秋田AT 山形YM 宮城MG 福島FS 新潟NI 長野NN 東京TK 神奈川KN 千葉CB 埼玉ST 茨城IB 栃木TG 群馬GM 山梨YN 静岡SO 岐阜GF 愛知AC 三重ME 滋賀SI 奈良NR 大阪OS 和歌山WK 兵庫HG 富山TY 福井FI 石川IK 岡山OY 鳥根SN 山口YG 鳥取TT 広島HS 香川KA 徳島TS 愛媛EH 高知KC 福岡FO 佐賀SG 長崎NS 熊本KM 大分OT 宮崎MZ 鹿児島KG 沖縄ON 小笠原OG

第35回初級CW QSO教室

日時 2月14日(日) 9:30~16:30まで

会場 八幡市文化センター 〒614-8037 京都府八幡市八幡高畑5番地3 ☎075-971-2111

交通 ○京阪電車、石清水八幡宮駅、樟葉駅、近鉄電車新田辺駅より京阪バスを利用。八幡市役所前または八幡小学校前バス停下車すぐ ○駐車場あり。詳細は、HP(アクセス 交通)参照<http://www.yawatabunka.jp/center/index.htm>

対象 「CWのライセンスは持っているがQSOの方法が分からない」「ラバースタンプQSOの略符号の意味が分からない」「電波を出したくても自信がない」等、お思いの局はぜひ参加ください ※他府県の局も大歓迎。CWは、QRPでも国内は言うにおよばず、地球上のいたるところに電波は届きます。そのうえ、言葉の障害もありません。これが、モールス符号が世界共通語とも呼ばれるゆえんです

内容 ○講義:ラバースタンプQSOの略符号, Q符号

の説明。ラバースタンプQSOのひな型と、その内容の説明 ○実技：発振器で音を出しての模擬交信（発振器は準備していますが、使い慣れた発振器をお持ちの局は持参）。KCWAのスタッフが相手 ○他：電鍵の操作方法説明、CW会得体験談等

持参品 マスク、筆記用具、マイ電鍵（電鍵をお持ちでない局は、数台準備してます）

費用 無料 ※テキストは(<http://www.jarl.com/kcwa/>)よりダウンロード可

申込方法 2月8日までにハガキまたはEメールにて「初級」と明記、住所、氏名、コールサイン、現有資格、電話番号を記入

申込先 〒607-8492 京都市山科区日ノ岡夷谷町17-80 京都CW愛好会 JA3DLM 岡田昌昭 ☎080-2249-0599 Eメール ja3dlm@jarl.com ※申込者への返信はしません

問合せ KCWAのHP内掲示板に書込んでいただければ回答します <http://www.jarl.com/kcwa/>

共催 関西ハムセミナー、JARL京都府支部、京都CW愛好会

※時節柄、新型コロナウイルスの影響が心配されますので、当クラブでは、情勢を見ながら役員会を開催、討議した結果、開催可否かをHPにてお知らせ

奈良県

奈良県支部大会・ハムの集い

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、奈良県支部大会の開催内容を大幅に縮小もしくは中止をすることがあります ※必ず直前に支部HPで開催確認をお願いします。

参加者はマスク着用をお願いします。大きな声での会話は自粛願います。また、発熱や体調不良等の症状がある方は参加をご遠慮ください。

当日、支部の通常の受付処理以外に、検温や施設利用者名簿の記入をお願いします。

大会会場（ホール）は、この原稿投稿現在では90席に制限されています。これを超えた場合に入場をおことわりすることがあります。間隔を空け指定された座席以外には座らないでください。

日時 3月14日（日）10：00～16：00

受付 09：30～ 開会10：00 ※事前申込み不要。当日、直接会場へお越しください

場所 葛城市歴史博物館「あかねホール」 葛城市忍海250-1 ☎0745-64-1414 ○近鉄御所線「忍海」下車西へ徒歩1分 ○奈良交通バス「忍海」または「忍海駅」下車 西へ徒歩1分 ○国道24号線「忍海」または「忍海北」交差点西へ100m ○無料駐車場あり

支部大会内容（予定、コロナ禍により変更することがある） ○支部長・来賓挨拶 ○令和2年度奈良県支部業務報告 ○令和2年度奈良県支部会計報告 ○令和3年度奈良県支部事業計画 ○令和3年度奈良県支部予算案 ○監査指導報告 ○クラブ紹介 ○社員紹介 ○ハンド付けゲーム ○記念撮影（従来形式の集合写真は撮影しません） ○講演会：関西地方本部長JR3QHQ田中透氏 ○意見交換会 ○各種表彰（コンテスト等）代表者による受領 ○自作機器発表会 ○QSLカードコンテスト ○JA3RL/3公開運用（予定）

○各種展示（予定） ○その他

第48回QSLカードコンテスト ○会場内、QSLカードコンテストをおこないます。自局のカード1枚を持参 ※過去に入選したQSLカードは除きます（過去の入賞QSLカードは支部HPに掲載） ○午前中に受けまたは担当者に提出 ※入賞されたカードはお返ししません ○審査は以下の5部門 ・すばらしいカードで賞 ・良いデザインで賞 ・良いアイデアで賞 ・アマチュアらしいで賞 ・良く判るで賞

第49回自作機器発表会 会場内、自作機器発表会をおこないます。日頃の製作品やアイデア作品等を持参ください。作品には展示用の簡単な説明書（作品名・作品の特徴・製作者名等）を用意

その他 ○なるべくJARL会員証を持参ください ○QSLカード転送サービスをおこないます。必ずプリフィックス順に整理して持参。転送できるQSLカードは、QSL転送サービス利用方法（JARL経由でQSLカードを送るには）参照 ○JARL会費（入会・継続）の受付業務をおこないます ○奈良V・UHFコンテストの入賞者で区分：県内局の県内会員の方は、出席して賞を受け取ってください（代理人可） ○JA3RL/3の公開運用を予定。運用を希望の方は、JARL会員証と無線従事者免許証を持参

※支部大会の詳細や案内地図等は支部HP (<http://www.jarl.com/nara/>)に掲載

CW実技講習会の中止のお知らせ

恒例の、奈良県支部主催「CW実技講習会」の開催を中止します。

1月24日（日）に開催を予定していましたCW実技講習会は、講習会の形態から3密の状況避けられず、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止させていただきます。次回開催時でのご参加を楽しみにします。

大阪府

技術講習会

日時 2月21日（日）13：00～16：30

場所 池田市立市民文化会館

内容 短縮トラップアンテナ製作 既存のダイポールANT（例7MHzに3.5MHz用「トラップローディングコイル」を作る）

参加費 実費：500円

講師 JE3RZT 野添憲三さん

申込・問合せ先 先着20名 見学可 Eメール ja3wdl@jarl.com JA3WDL井村まで

コロナ禍のおり、支部HPもぜひ参照してください

大阪府・兵庫県

関西ハムシンポジウムの開催中止のお知らせ

2月7日（日）、JARL兵庫県支部と大阪府支部共催の「関西ハムシンポジウム」は新型コロナウイルス感染症予防のため、やむなく中止とさせていただきますこととなりました。

ジャンク市が目玉のイベントであることから、オンライン開催も困難です。また、実際に開催した場合は、感染予防対策として全参加者の把握（接触確認アプリ導入）、全参加者の検温、マスクの準備 シールド板設置、室内の換気、施設内のこまめな消毒、参加人数制限等々

を検討した結果、主催者側の対策には費用も発生し、適切な感染予防対策が困難と判断した結果です。ご理解をお願いします。

和歌山県

支部大会・ハムの集い

場所 和歌山市立中央コミュニティセンター 和歌山市三沢町1丁目2 ☎073-462-2678

日時 2月21日(日) 11:00~16:30

内容 [11:00~]ハムの集い・アイボールミーティング等 [13:00~16:30]○支部報告 ○前年度行事報告・同決算報告 ○本年度中間報告 ○来年度行事計画・同予算説明 ○監査指導委員長現況報告 ○和歌山コンテスト報告 ○和歌山アワード発行状況報告 ○非常通信訓練結果報告 ○意見交換

その他 ○JARL会員証を持参ください。お楽しみ抽選カード・記念品を渡します ○QSLカード転送:カードはプリフィックス順に輪ゴム等で止め、包装紙ははずして当日持参 ※新型コロナ感染状況により中止等については、メーリングリスト、支部HPに掲載

問合せ JR3KUF 池上和彦 〒641-0062 和歌山県和歌山市雑賀崎6-48 ☎090-3720-1102 Eメール: jr3kuf@jarl.com

第33回和歌山コンテスト

日時 4月4日(日) 09:00~21:00JST

参加資格 日本国内のアマチュア無線局, SWL

部門 ○N: 和歌山県内の部 ○G: 和歌山県外の部 ○S: SWLの部

種目・コード・使用バンド(別表)

周波数区分 JARL主催コンテスト使用周波数帯を適用 ※1.9, 1200MHzはアマチュアバンド使用区分を準用

呼出 ○県内局 電信「CQ WK TEST IN DE J*3***」 電話「CQ 和歌山コンテスト こちらは県内局 J*3***」 ○県外局 電信「CQ WK TEST DE J*7****」 電話「CQ 和歌山コンテスト こちらは県外局 J*7****」

交信の相手局 ○県内局: 国内全域 ○県外局: 和歌山県内局のみ

コンテストナンバー ○県内局: RS(T)+市・郡ナンバー ○県外局: RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点 ○1交信を1点 ○SWLは和歌山県内のみを1点 ※同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない

マルチプレイヤー ○県内局: 各バンドごとに都府県支庁(和歌山県を除く), 和歌山県内の市・郡を1マルチ ○県外局: 各バンドごとに和歌山県内の市・郡を1マルチ

総得点 得点合計×マルチ合計

提出書類 JARLコンテスト用サマリーシート, ログシート, またはそれと同一と見なし得る書式

締切 4月30日(金)消印有効

提出先 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部コンテスト係 Eメール: wk-test@jarl.com

問合せ 提出先と同じ

結果・表彰 結果は支部HP発表。インターネット接続

(別表) 種目・コード・使用バンド

		和歌山県内			和歌山県外		
		電信	電信 電話	電話	電信	電信 電話	電話
シングルオペ	1.9MHz シングルバンド	NC1.9	NX1.9	—	GC1.9	GX1.9	—
	3.5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	—	GC3.5	GX3.5	—
	7MHz シングルバンド	NC7	NX7	NP7	GC7	GX7	GP7
	14MHz シングルバンド	NC14	NX14	—	GC14	GX14	—
	21MHz シングルバンド	NC21	NX21	—	GC21	GX21	—
	28MHz シングルバンド	NC28	NX28	—	GC28	GX28	—
	HF(1.9~28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	NPHF	GCHF	GXHF	GPHF
	50MHz シングルバンド	NC50	NX50	—	GC50	GX50	—
	144MHz シングルバンド	NC144	NX144	—	GC144	GX144	—
	430MHz シングルバンド	NC430	NX430	—	GC430	GX430	—
マルチオペ	1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	—	GC1200	GX1200	—
	V・U(50~1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	—	GCVU	GXVU	—
マルチオペ	マルチバンド 電信・電話	—	NXMA	—	—	GXMA	—
SWL	マルチバンド 電信・電話	SWL(和歌山県内・外共通)					

環境にない方はSASEをお勧め ○表彰は、各部門、種目別にエントリー数が5局以内は1位のみ、6~10局は2位まで、11局以上は3位まで ○表彰の対象者で賞状発行を希望する局には次の要領で発行 ※JARL会員に限る ・希望の方は、氏名、コールサイン、種目、順位、送付先住所と郵便番号(賞状紙ベースの方)メールアドレス(pdfの方), を連絡 ※確認後、送付 ・希望の受付は結果発表後1カ月、申込み先はログ提出先と同じ

禁止・その他 ○JARLコンテスト規約に準じる ○エントリーは次のとおり ・シングルオペは2種目以内 ※HF帯(1.9~28MHz)とV・UHF帯(50~1200MHz)で各1種目 ・マルチオペは1種目 ・SWLは1種目 ・同一個人が、2以上のコールサイン(SWLナンバー含む)を使用してのログ提出は認めない ○和歌山県内登録クラブ対抗: サマリーの登録クラブ欄に登録クラブ番号とクラブの名称を記入 ○コンテスト結果が必要な方は、長形3号の封筒に94円切手を貼ったSASEを同封 ○移動局に対して、移動した事実を証明できるもの(宿泊先の領収書、当該地域での買い物の領収書、移動地で撮影した日付入の写真など)の提出を求める場合がある。また、サマリーシートへの移動先の記載は単に市郡名の記載ではなく、**市**山、山頂付近などの具体的地域の記載をお願いします ○副賞の「和歌山県特産品」はエントリー数、得点などにより、県内の部・県外の部ともに入賞9個以内と、1.9MHz電信電話部門の県内・県外の1位、

特別賞1個程度の予定

電子ログで提出される場合のお願い ○電子ログサマリーはJARL Web記載の電子ログ作成ツールの旧バージョン (VERSION = R1.0) で提出してください ※ウイルス対策上から添付ファイルは受付けません ○件名欄は「WK-TEST + 貴方のコールサインまたは准員番号」、送信者名は「氏名」または「コールサイン」を正しく名乗ること (悪戯と紛らわしい送信者名は使用しない。迷惑メールで削除されても責任は持ちません) ○メールで提出時、1種目1メールとし2種目を同一メールで送付しない ○再提出の場合、件名はコールサイン+「再提出」、問合せはコールサイン+「問合せ」としてください ○ログ提出者は当HPで公表コンテストにおいて交信した際のQSLカード交換について 過去に同一バンド・モードで交信し、既にQSLカードの交換を済ませている場合などは必要以外交換・発行を控えるようにしましょう

Report テクニカル講座「nanoVNAを使用してアンテナの調整と応用」開催



2020年11月8日、和歌山東部コミュニティセンターで、nanoVNAを使ってスミスチャートの使い方と、それを使ったマッチング方法の説明や実際のアンテナを使っての測定などをおこないました。大阪、滋賀、奈良からも参加いただき、34名の方が熱心に聞いていました。

4エリア

中国地方

地方本部

第2回オールJA4コンテスト

開催日時 3月14日(日) 12:00~21:00

参加資格 日本国内のアマチュア無線局・SWL

周波数 3.5MHz~1200MHz ※JARL主催コンテスト

周波数を準用

参加種目(別表)

○シングルオペはコンテスト中の運用にかかわるすべてのことを一人でおこなう ○バンドが重ならない組み合わせであれば、2種目へのログ提出が可能(例) 7MHzと14MHz: OK, HFマルチバンドとVUマルチバンド: OK, HFマルチバンドと7MHz: NG

呼出 ○電信「CQ JA4 TEST」 ○電話「CQ オールJA4 コンテスト」または「CQ JA4 コンテスト」

コンテストナンバー ○4エリア内局: RS (T) + 市区郡ナンバー ○4エリア外局: RS (T) + 都府県・地域等のナンバー

交信(受信)相手局 ○4エリア内局: 日本国内で運用す

(別表) 参加種目

種目		コード	
		4エリア内	4エリア外
シングルオペ	HFマルチバンド (28MHz以下)	NHF	GHF
	VUマルチバンド (50MHz以上)	NVU	GVU
	3.5MHzバンド	N3.5	G3.5
	7MHzバンド	N7	G7
	14MHzバンド	N14	G14
	21MHzバンド	N21	G21
	28MHzバンド	N28	G28
	50MHzバンド	N50	G50
	144MHzバンド	N144	G144
	430MHzバンド	N430	G430
マルチオペ	オールバンド	NMM	GMM
		NSWL	GSWL
SWL	オールバンド	NSWL	GSWL
チェックログ		CHL	

るすべての局 ○4エリア外局: 4エリア内で運用する局

禁止事項 コンテスト中の、マルチの異なる運用場所への移動。その他はJARL主催コンテストに準じる

得点 ○アマチュア局 ・コンテストナンバーの交換が完全にされた交信1点 ※相手局とログが照合できた場合はさらに1点追加 ・同一バンドにおいて同一局との交信は電信・電話それぞれ1交信ずつ有効 ※電信、電話ともに同じポイント ○SWL ・送受信局間でコンテストナンバーの交換が完全にされた交信の受信1点 ※相手局とログが照合できた場合はさらに1点追加 ・同一バンドにおいて同一局の受信は電信・電話それぞれ1受信ずつ有効 ※電信、電話ともに同じポイント

マルチブライヤー ○4エリア内局: 4エリア内の異なる市区郡, 4エリア外の異なる都府県・地域等の数 ○4エリア外局: 4エリア内の異なる市区郡の数

総得点 ○マルチバンド: 各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチ(市区郡+都府県・地域等)の和 ○シングルバンド: 当該バンドで得た得点×当該バンドで得たマルチ(市区郡+都府県・地域等)

登録クラブ対抗 4エリア内の登録クラブ員で、登録クラブ番号の記載があれば、登録クラブごとに得点を集計

書類提出 ○電子ログ(Web) ※強く推奨 <http://ja4test.mydns.jp/uploadLog.html> から送信 ※1件ずつの手入力もできます ○電子ログ(Eメール) ※Webからの提出がうまくいかない場合のみ利用ください jj4kme+ja4test@gmail.com へ送信 ○紙を郵送 ※手書きのもののみ受付。PC等によるプリントアウトは受付ません 〒680-0941 鳥取市湖山町北4-767 太田篤 「オールJA4コンテスト書類在中」明記

提出締切 3月22日(月) 消印有効, 電子ログの場合は同日23:59までに送信 ※いずれの場合も電子メール等による受付通知はしません。各自で提出状況のページからご確認ください ※紙による書類提出は第3回の開催をもって廃止し、第4回からは電子ログに一本化します。できるだけWebまたは電子メールによる方法を利用ください

書類提出時の注意事項 ○重複交信の場合でもログから